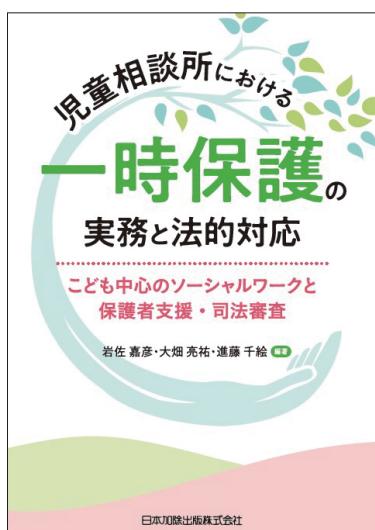


# 子どもの福祉に取り組む弁護士、自治体・児童相談所等職員、研究者等が 一時保護の実務と法的対応を徹底解説



# 児童相談所における 一時保護の 実務と法的対応

## 子ども中心のソーシャルワークと 保護者支援・司法審査

岩佐嘉彦 大畠亮祐 進藤千絵 編著

2025年7月刊 A5判 472頁 定価5,610円（本体5,100円）978-4-8178-5003-4 商品番号：41000 略号：児保

- 2025年6月施行「一時保護時の司法審査」（2025年5月「一時保護ガイドライン」改正）完全対応。
- 一時保護施設の運用を、現場の実務と法律の両面から詳説。

### 目次

<b>第1章 制度解説編</b>	<b>第4節 一時保護委託と子どもシェルター</b>	<b>第7節 一時保護委託（委託一時保護）に関する問題</b>
第1節 一時保護の制度の概要と機能		
第2節 統計でみる一時保護	<b>第3章 法的論点の解説・検討編</b>	
第3節 これまでの法改正の経緯	はじめに——本章の趣旨と特徴	
第4節 一時保護（施設）の構造的な課題	第1節 「一時保護」制度の概要	
第5節 変革を迫られる一時保護施設	第2節 一時保護の要件解釈上の論点	
<b>第2章 実務運用視点による解説編</b>	第3節 一時保護の実施時に生ずる諸問題	
第1節 一時保護の実施・解除のアセスメント	第4節 一時保護の法的性質	
第2節 一時保護実施時の留意点	第5節 一時保護に関する司法審査——一時保護に関する各種裁判等の手続	
第3節 一時保護施設の環境・ケア・アセスメントの実際	第6節 一時保護後（一時保護中）に生じる諸問題	
		<b>第4章 課題検討編</b>
		第1節 一時保護中の子どものアドボケイト
		第2節 AHT事案と一時保護をめぐる問題
		第3節 一時保護中の保護者等との面会通信制限について
		第4節 児童が一時保護された親側の対応
		第5節 一時保護に対する司法審査の運用上の留意点について
		第6節 児童虐待ケースに対する裁判所の関与をめぐるるべき制度について——一時保護制度を中心に考える

### 編著者・執筆者一覧

岩佐嘉彦 弁護士（大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員）・神戸市北神区役所要保護児童対策地域協議会スーパーバイザー  
大畠亮祐 弁護士・保育士（大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員／堺市児童虐待等援助チーム委員）  
進藤千絵 弁護士（大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員）

安部 計彦 日本児童相談業務評価機関代表理事・社会福祉士・元西南学院大学教授  
石田 文三 弁護士（大阪市児童福祉審議会委員）  
井上 景 公立大学法人長野大学社会福祉学部准教授  
江口 晋 大阪市大正区要保護児童対策地域協議会スーパーバイザー・元大阪府中央子ども家庭センター所長  
木下 裕一 弁護士（日本弁護士連合会子どもの権利委員会監事）  
玉野まりこ 弁護士（大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員）・特定非営利活動法人子どもセンターぬつく理事長

中村 善彦 弁護士（大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員）  
根ヶ山裕子 弁護士（名古屋市西部児童相談所常勤弁護士）  
古本 剛之 弁護士（大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員）  
茂木 健司 杉並区子ども家庭部副参事  
安井 飛鳥 弁護士（児童相談所勤務）・社会福祉士・精神保健福祉士・全国子どもアドボカシー協議会自治体スタートアップサポートー）

